



あしざわ ひでのり
芦澤 秀典
(明和)

教 育
企 画

富士宮市における中学校通級指導教室の設置について

問 現状の支援体制について。

教育長 中学校では一人一人の実態を踏まえ、家庭と連携しながら必要な声かけ支援を行い、安心して過ごすことができる環境づくりに努めている。

問 中学校に通級指導教室を設置する場合、どのような課題があるのか。

教育長 中学校に通級指導教室を設置する場合、幾つかの課題があると考えており、まずは、人員と専門性の確保がある。現在、通常学級や特別支援学級の教員数の確保が難しい状況にあり、その中で通級指導教室の追加人員を確保すること



は非常に大きな課題である。

上井出の旧国立病院機構静岡富士病院跡地の造成工事状況について

問 工事の進捗状況について。

部長 解体工事の完了予定は、令和8年3月末となっている。

問 造成後の土地利用について。

部長 解体工事後の土地利用については、まだ正式な事業内容は決定していない。

問 地域への影響や生活環境への配慮について。

部長 解体工事については、音の出にくい方式で工事を実施。工事に関して今後地域への影響が出た場合、騒音に関しては市の生活環境課、渋滞等の交通量に関しては富士宮警察署が窓口となる。



さいとう かずふみ
齋藤 和文
(公明会)

教 育
保 健 福 祉

こどもから大人までの金融教育について

問 金融教育が必修化されたが小学生・中学生の学びの場はあるのか。専門家が学校で教えることは可能か。

部長 金融教育は社会変化に対応し自立した生活を送るために必要な力を育むものである。高校では必修化、小中では学習指導要領に基づき年齢に応じた学習を行っている。要領に沿った内容であることを確認し、専門家の協力を得ることは可能で、より理解を深めることができると考えている。

問 成人教育の中で金融教育を学びたいという声もある。市内で開催している講座はあるのか。

部長 今年度は4つの公民館で、知識レベルに合わせて8講座を実施した。

問 今後、市及び教育委員会はどのような金融

教育を行う場を作っていくのか。

部長 学校教育を基本とし専門家の知見を取り入れ、こどもたちの金融リテラシー^{*6}を育成するための取組を推進する。成人教育では正しい知識と判断力を身につけ、市民の金融リテラシー向上に役立つ講座等を実施していく。

障がい者も健常者も行えるスポーツについて

問 卓球バレーの普及について。

部長 今後、関係団体と協議しながら、毎年11月に開催されている市民レクスポ祭などで紹介する。



問 障がい者にとってウェルビーイング^{*7}とは。

部長 一般的には健康面というイメージであるが、人それぞれ生活の様態は変わっても、幸せを求め続けることは、人にとって平等であると捉えている。

意見 障がい者スポーツの答弁を教育部長が答弁したことは大変意義のあるものだった。